

# 洞爺湖ビジターセンター 2014年度 自然ふれあい通信



## 西山山麓火口群 地熱帯見学

(2015年3月7日開催)

火山は地球の地下深くにある熱エネルギーをマグマという形で地上まで運んできます。逆に、マグマを観察することで地下の様子を想像することもできます。

今回は火山の熱を体感するために、西山山麓火口群へ行きました。

基本的に火山の熱さは年中同じくらいですが、気温と地温の差が大きくなる冬は、火山の熱をより強く感じることがができます。

※今回は特別な許可を得て、冬期立ち入り禁止の西山散策路に入域しています。



地温が低い場所は雪が積もっています

火山地帯の地下は繰り返し起きる噴火や地殻変動のため、様々な地質が複雑に積み重なってできています。

火山ガスはその隙間を通して地上近くまで来て、地下水を温めて温泉を湧かせたり、地面を温めたり、水蒸気を地表に噴出させたりします。

ちなみに、火山ガス自体は300℃くらいの高温ですので、直接地下水とふれあうと水蒸気爆発を起こしてしまいます。

ですので、普段は岩盤や土が熱を伝えて地上近くまで熱を運んでいるのです。

寒い屋外で地熱を感じると、温泉などの火山の恵みが一層ありがたい気持ちになります。



地熱帯では雪が降っても溶けてしまいます

西山山麓火口群の中でも、場所によって地温は大きく変わります。火口の近くが一番熱いかというところでもありません。

上の写真のように、火口ではないところから激しく水蒸気が上がっていたり、逆に火口の池は凍っている、なんてこともあります。

これは、地下深くのマグマから分離した高温の火山ガスがどこを通過しているか、その途中はどのような地質なのか、ということと関係しています。



火口壁からは水蒸気が上がっています

火口池は凍っています



無料の天然ロードヒーティングですね

主催

洞爺湖ビジターセンター等利用協議会

支笏洞爺国立公園  
Shikotsu-Toya National Park

世界ジオパークネットワーク認定地域